

令和5年11月実施

事業所名 和こう

		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	61.5%	15.4%	23.1%	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士のトラブルや気持ちの高ぶりが見られた時に、落ち着くことができるようにグッズを用意したり、保育室から遊戯室へ移動したりして対応している 子どもが気持ちを落ち着かせることができるような空間作りを、パーティション等を利用して行えるよう改善していきたい
	2	職員の配置数は適切であるか	15.4%	46.2%	38.5%	<ul style="list-style-type: none"> 配置人数としては適切かもしれないが、個人個人に対応する時に、人数不足を感じる時がある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	61.5%	15.4%	23.1%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	76.9%	0.0%	15.4%	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	38.5%	15.4%	46.2%	<ul style="list-style-type: none"> バスの添乗業務や消毒作業、次の日の準備等の業務に追われ、振り返りの時間が十分に設けられない。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	76.9%	0.0%	15.4%	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	53.9%	0.0%	46.2%	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	46.2%	7.7%	46.2%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	69.2%	15.4%	15.4%	<ul style="list-style-type: none"> 営業時間中の機会の確保は難しい時もあるが、職員間で連携し、研修参加の機会を設けられるようにしている

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	84.6%	0.0%	15.4%	・適切な時期にアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	76.9%	0.0%	23.1%	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	61.5%	7.7%	30.8%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	69.2%	0.0%	30.8%	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	46.2%	15.4%	38.5%	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	46.2%	15.4%	38.5%	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	76.9%	0.0%	23.1%	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	76.9%	7.7%	15.4%	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	69.2%	7.7%	23.1%	・一日の終わりの終礼時に、振り返り等を行っているが、時間を十分に設けられない時もある ・また、勤務形態の都合上参加できない職員に対しても申し送りを行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	76.9%	0.0%	23.1%	
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	61.5%	15.4%	23.1%		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	69.2%	0.0%	30.8%
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	84.6%	0.0%	15.4%
	23	(医療的ケアは必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	76.9%	0.0%	23.1%
	24	(医療的ケアは必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	84.6%	7.7%	7.7%
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	92.3%	0.0%	7.7%
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	84.6%	0.0%	15.4%
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	53.9%	23.1%	23.1%
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15.4%	61.5%	23.1%
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	30.8%	23.1%	46.2%
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	84.6%	0.0%	15.4%
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	38.5%	7.7%	53.9%

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	61.5%	0.0%	38.5%	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	69.2%	0.0%	30.8%	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	76.9%	0.0%	23.1%	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	61.5%	7.7%	30.8%	・以前と比べると機会は少なくなっている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	76.9%	0.0%	23.1%	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	76.9%	0.0%	23.1%	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	92.3%	0.0%	7.7%	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	76.9%	0.0%	23.1%	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	46.2%	23.1%	30.8%	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	92.3%	0.0%	7.7%	・防災委員の職員が集まり、マニュアルの見直しや周知を行っている ・また、防災新聞を配布し、活動内容等の周知を行っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	84.6%	7.7%	7.7%	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	92.3%	0.0%	7.7%	

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100.0%	0.0%	0.0%	・配膳時に目で見分けるように、食札に記載して提供し、誤った提供がないように徹底している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	92.3%	0.0%	7.7%	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	69.2%	7.7%	23.1%	・営業時間中に行うことが多く、職員の参加は難しいが、伝達講習等を行い、情報共有を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	76.9%	0.0%	23.1%	

アンケート配布人数 13 人 回収人数 13 人 回収率 100 %

《 今年度の振り返りと評価 》

①地域の保育所、認定こども園、幼稚園、学校などの関係機関と密な連携を図ります

今年度は県健康福祉部少子化対策監室と共に、地域のこども園や幼稚園スタッフとの交流研修を開催しました。互いの現場での課題点や取り組みを共有し、トライアングルでの支援を強化していくことを再確認できました。

②療育内容の充実、質の向上を図ります

講師を招いての研修会等、定期的に勉強会を行いました。また職員全体での情報共有、各専門部署との意見交換等、多数の視点から療育内容の見直しや具体的な支援方法の考察を行いました。しかし、保護者の皆様へのフィードバックにまで至らず今後の課題となりました。

③防災意識を高め、様々な災害を想定し、具体的な避難マニュアル作りを推進していきます。

防災頭巾やヘルメット等必要物品の確認・装備を行い、迅速な職員の動きやスムーズに連携を図れるよう定期訓練を行っています。今後は実際の取り組みをお便りや連絡帳を通して周知し、保護者の皆様との共同訓練を実施したいと考えています。

《 今後に向けての改善目標 》

①子どもに関わる方々のニーズを把握し、情報発信の軸となるよう意欲的に取り組みます

これまで行っている保護者との連絡帳や面談を通してのニーズ把握もちろんのこと、今後は関係する方々を交えた担当者会議を事業所発信で開催し、様々なニーズを把握していきます。また地域の講演会やペアレントトレーニング研修のお知らせ等必要な情報を適切に発信し、保護者や関係機関と協働して子どもの成長につなげる療育を展開していきます。

②災害時における共同避難訓練の実施、具体的な避難マニュアルの策定

引き続き様々な災害を想定した職員の迅速な動きや安全確保の手段を、具体的にマニュアル化していきます。また、子どもを安全に保護者等に引き渡すことができるよう、保護者の皆様のご協力をいただいて共同避難訓練の実施を計画します。